

解析学 II 演習 (担当: 松本) 問題 3 解答例

注意 以下はあくまで解答例で、解答は一つとは限らない。誤植も含め、解答に誤りがあるかもしれないので、各自で検証すること。コメント、質問は大歓迎です。

問題 3.1. (1) $x < \tan x$ ($0 < x \leq 1$) より、 $f'(x) = \frac{x \cos x - \sin x}{x^2} = \frac{\cos x(x - \tan x)}{x^2} < 0$ ($0 < x \leq 1$) となり、 $f(x)$ は単調減少。

(2) 省略。

(3) $\sup_{n \geq 1} a_n = 1, \inf_{n \geq 1} a_n = \sin 1$. (4) $\max_{n \geq 1} a_n$ は存在しない。 $\min_{n \geq 1} a_n = \sin 1$.

問題 3.2. (1) $\limsup_{n \rightarrow \infty} a_n = 1, \liminf_{n \rightarrow \infty} a_n = -1$, (2) $\limsup_{n \rightarrow \infty} b_n = \infty, \liminf_{n \rightarrow \infty} b_n = -\infty$,

(3) $\limsup_{n \rightarrow \infty} c_n = 1, \liminf_{n \rightarrow \infty} c_n = -1$.

問題 3.3. (1) $\sup_{n \geq 2k} a_n = 3 + \frac{1}{2k}, \inf_{n \geq 2k} a_n = 0$

(2) $\sup_{n \geq 2k-1} a_n = 3 + \frac{1}{2k}, \inf_{n \geq 2k-1} a_n = 0$

(3) $\limsup_{n \rightarrow \infty} a_n = 3, \liminf_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$

問題 3.4. (1) $(0, 1)$ に含まれる有理数の全体。このように考えると、有理数全体が加算集合である、つまり番号を付けることができることが分かる。

(2) $0 < a_n < 1$ より、数列 $\{a_n\}$ は (上にも下にも) 有界である。上極限および下極限は、それぞれ

$$\limsup_{n \rightarrow \infty} a_n = 1, \quad \liminf_{n \rightarrow \infty} a_n = 0$$

である。部分列 $\left\{ \frac{1}{2}, \frac{2}{3}, \frac{3}{4}, \dots \right\}$ は 1 に収束する。部分列 $\left\{ \frac{1}{2}, \frac{1}{3}, \frac{1}{4}, \dots \right\}$ は 0 に収束する。

(3) 例えば、

$$\left\{ \frac{6}{10}, \frac{69}{100}, \frac{693}{1000}, \frac{6931}{10000}, \frac{69314}{100000}, \frac{693147}{1000000}, \dots \right\}$$

などである。

問題 3.5. (1) (i) 単調減少 (ii) $a_m \leq \overline{a}_k, b_m \leq \overline{b}_k$ (iii) 存在する。

(2) $a, b > 0$ として、 $a_n = (-1)^n a, b_n = (-1)^{n-1} b$ など。実際、 $\limsup_{n \rightarrow \infty} a_n = a, \limsup_{n \rightarrow \infty} b_n = b, \limsup_{n \rightarrow \infty} (a_n + b_n) = |a - b|$ である。

(3) (1) を参考にして、「不等号の向き」を変えたりして、自分で考えて欲しい。

まず、

$$\underline{a}_k = \inf_{n \geq k} a_n, \quad \underline{b}_k = \inf_{n \geq k} b_n, \quad \underline{c}_k = \inf_{n \geq k} (a_n + b_n)$$

とおく。 $\{\underline{a}_k\}, \{\underline{b}_k\}$ は単調増加な数列であり、 $\{a_n\}, \{b_n\}$ の有界性から有限な極限值を持つ。言うまでもなく、 $m \geq k$ のとき、 a_m と \underline{a}_k, b_m と \underline{b}_k を比較すると、

(a) $a_m \geq \underline{a}_k, \quad b_m \geq \underline{b}_k$

が成り立つ。一方、数列 $\{a_n + b_n\}$ を考えると、下限 $\inf_{n \geq k} (a_n + b_n)$ の定義より、任意の $\varepsilon > 0$ に対して、

(b) $c_k + \varepsilon > a_m + b_m$ を満たす $m \geq k$ が存在する。

したがって、(a) と (b) より $c_k + \varepsilon \geq a_k + b_k$ であり、 $k \rightarrow \infty$ として

$$\liminf_{n \rightarrow \infty} (a_n + b_n) + \varepsilon \geq \liminf_{n \rightarrow \infty} a_n + \liminf_{n \rightarrow \infty} b_n$$

が成り立つ。 $\varepsilon > 0$ は任意だから、結論を得る。

問題 3.6. (1) $a_{2n} = 1$ より、 $\{a_{2n}\}$ は収束する部分列である。

(2) $a_{4n+1} = (4n+1) \cos\left(2n\pi + \frac{\pi}{2}\right) = 0$ より、 $\{a_{4n+1}\}$ は収束する部分列である。

問題 3.7. (1) $a_n > 4$ ($n = 2, 3, \dots$) より、

$$|a_{n+1} - a_n| = \left| \left(4 + \frac{1}{a_n}\right) - \left(4 + \frac{1}{a_{n-1}}\right) \right| = \frac{|a_n - a_{n-1}|}{a_n a_{n-1}} < \frac{|a_n - a_{n-1}|}{16}$$

が成り立つ。

(2) (1) より $k \geq 3$ に対して、 $|a_k - a_{k-1}| < \frac{|a_2 - a_1|}{16^{k-2}}$ だから、 $n > m$ に対して

$$\begin{aligned} |a_n - a_m| &\leq |a_n - a_{n-1}| + |a_{n-1} - a_{n-2}| + \dots + |a_{m+1} - a_m| \\ &< \frac{|a_2 - a_1|}{16^{n-2}} + \frac{|a_2 - a_1|}{16^{n-3}} + \dots + \frac{|a_2 - a_1|}{16^{m-1}} \\ &< \frac{1}{16^{m-1}} \left(1 + \frac{1}{16} + \dots\right) |a_2 - a_1| \end{aligned}$$

となる。

よって、任意の $\varepsilon > 0$ に対して N を

$$\frac{1}{16^{N-1}} \left(1 + \frac{1}{16} + \dots\right) |a_2 - a_1| < \varepsilon$$

となるようにとると、 $n > m \geq N$ ならば $|a_n - a_m| < \varepsilon$ となる。よって、数列 $\{a_n\}$ はコーシー列であり、従って収束する。

(3) $a = \lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ とすると、 $a = 4 + \frac{1}{a}$ が成り立つ*1。これを解いて $a = 2 \pm \sqrt{5}$ を得る。従って、 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n = 2 + \sqrt{5}$ である。

*1 ここで、収束する数列について、和・差・積・商の極限が、極限の和・差・積・商に等しいことを用いている。